



©Kraken Films

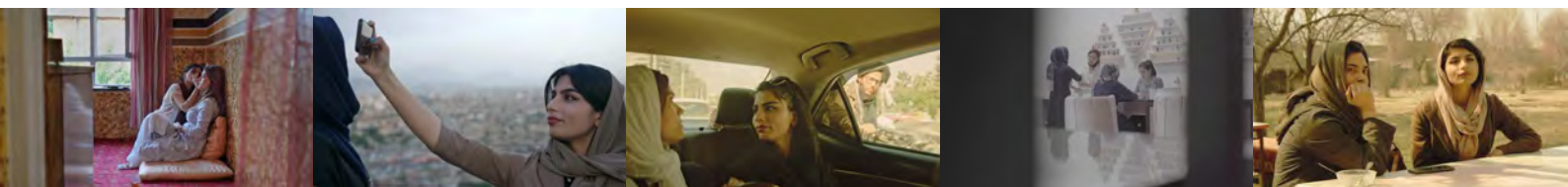
難民映画祭パートナーズ上映会

カブール・ビューティー

圧政下の女性たち—その抵抗と脱出

アフガニスタンでは2021年のタリバン復権後、女性たちが仕事や教育の機会を奪われていった。かろうじて生活を守ってきた仲良しの美容師、ニギナ（27）とソフィア（25）も、故国からの脱出を決意する。フランス系女性ジャーナリストたちが監視をくぐり抜けて撮影した、胸に迫るドキュメンタリー。

監督：マルゴー・ベン、ソレーヌ・シャルヴォン＝フィオリティ



©Kraken Films

3回上映＋昼休みトーク

9:00-10:40
E-102

13:35-15:15
W-205

15:30-17:10
W-205

同時上映

短篇

リスト：彼らが手にしていたもの

監督：関根光才

トーク

12:45-13:25 W-205

「UNHCRの難民支援と私たちにできること」

講師：国連UNHCR協会 天沼耕平氏

10.21 (水)

どなたでも参加できます

主催：外国語学部交流文化学科
後援：国連UNHCR協会

難民映画祭
REFUGEE FILM FESTIVAL
PARTNERS

獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY